令和２年度　事業報告書

社会福祉法人創和会

目　　次

１，はじめに　２

２，各部署の年度報告

地域密着型特別養護老人ホーム　３

通所介護事業（デイサービス）　５

訪問介護事業（ヘルパーステーション）　８

居宅介護支援事業（ケアマネジメントセンター）　１０

グループホーム　１３

看護グループ　１６

総務管理課（法人本部事務局）　１８

１，はじめに

今年度は、長年施設長として務められた前統括施設長が、前年度末に退任となり、急きょ新たな管理体制に移行することとなったことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大が重なり、年度スタートから通常業務に加え、感染対策と新体制の構築を合わせて実施していくことを余儀なくされた非常に厳しい一年でした。

また同時に、今年度の優先課題として、年々増加している派遣職員依存からの脱却を挙げていましたが、一年を通した結果、直接雇用への転換は思うように進みませんでした。

以下に令和２年度の事業部門についての事業総括概要を報告致します。

今年度、地域密着型特別養護老人ホーム部門については、 新型コロナウイルス感染症対策の一環でショートステイの利用を控えましたが、昨年度の年間平均稼働率 98.8%に対し、今年度は 98.7%と僅かな減少に留まりました。一方、平均介護度は昨年度の 4.4 から 4.6 と増加しました。新型コロナウイルス禍にあって、感染対策を意識しながら通常介護を行うことの大変さがありましたが、ご利用者、職員に感染がなく年度末を迎えることができ、感染対策には一定の効果があったと考えております。

デイサービス部門については、今年度、新規の利用者増を再優先課題として掲げておりましたが、新型コロナウイルスの影響により利用率が減少しました。特に第一四半期はその影響が大きく、一時は新規の問い合わせがほぼなくなるなど、利用率減少に繋がりました。その後、７月ごろから復調の兆しも見えてきましたが、１月の緊急事態宣言発令により再度利用率が低迷し、利用率の安定しない１年となりました。

また、認知症対応型デイサービス事業については、職員不足により１０月３１日をもってやむなく１年間休止することと致しました。

以上のように変動著しい一年ではありましたが、直接サービスの提供については、趣味活動や、「大人の学校」の活用により充実した時間を過ごして頂けるようサービスの活性化に努めました。

訪問介護事業については、昨年度と比較し派遣時間が減少しました。主たる要因はヘルパー職員の不足に因ります。その為、新規の依頼があっても受けることができず、増収の機会を活かせない状況となりました。次年度以降、早急に改善すべき喫緊の課題として受け止めております。

ケアマネジメントセンターについては、６月より新規スタッフが入職、７月には１名のスタッフがグループホームへ異動となりました。またケアプラン数については、訪問介護事業同様、ケアマネジャーの人員不足の影響もあり当初の計画が達成できませんでした。

木曽東グループホームは新規開設より４年が経過しました。初年度より３年間の年間稼働率の推移は、60.7%、97.6%、98.9%、と右肩上がりでしたが、今年度は年度末にかけて、入院、看取り等が重なり 95.6%と減少しました。職員体制については年度末に、新たに介護、看護スタッフが加わる一方、ユニットのリーダーの交代もあり、職員の入職、退職が相次ぎました。

次ページより創和会の５事業部及び、２部署の年度報告を致します。

２，各部署の年度報告

地域密着型特別養護老人ホーム

令和２年度活動実績

1. 部門経営の安定化

（方針１）入居率の安定

（実績１）退居者は５名でした。骨折による入院が２名いた事と入居準備に時間が掛かった事に加え、コロナ感染症が増加の中ショートステイの利用が出来ず、年間の空床が９６床と多かった。入居稼働率は９８．7%で、目標が達成出来ませんでした。

（方針２）重度要介護高齢者の積極的な入居受け入れ態勢の確保

（実績２）介護４の方を２名、介護５の方を２名受け入れました。

（方針３）介護報酬改定に伴う加算の見直し

（実績３）加算の見直しはありませんでした。減算にならないよう、研修を行いました。

２．介護職員等の体制確保

（方針１）ユニットケアの実践に必要な人材確保

（実績１）今年度は常勤職員が２名退職し、それに伴い雇用促進事業を３名利用したが雇用は１名のみにとどまりました。職員募集の広告で希望者はありましたが、雇用に繋がっていません。

（方針２）職員教育と介護実践基盤の構築

（実績２）職員の交代や派遣職員の利用に伴い、介護職員の心構えや価値観、考え方の統一などが出来ず、改めてユニットケアのあり方を伝えていきたいです。

（方針３）ミーティング等における意見交換しやすい環境づくり

（実績３）ミーティングの際には、参加出来ない職員にも意見を聞くようにしています。

（方針４）外国人介護人材やアクティブシニア人材の受け入れ

（実績４）経験のないアクティブシニアの受け入れ、教育が大変な事を実感しました。

（方針５）介護ロボットの導入

（実績５）介護ロボットの導入はしていません。何をするにも高額な為、慎重にする必要があります。

３．介護の質の向上

（方針１）ユニット内ミーティング

（実績１）ご入居者の重度化に伴い、日々変化するご入居者に対しての短時間のミーティングは増えてきています。

（方針２）リスクマネジメントの徹底

（実績２）ヒヤリ・ハット等があった際は、その日の内に用紙に記入し職員に周知し、再発防止に努めています。

（方針３）特養研修会の企画

（実績３）運営基準上の義務的研修は終えましたが、それ以外の研修は行えませんでした。

（方針４）入居者お一人おひとりに合わせた介護の実践

（実績４）体調等に合わせた対応を多職種で考え、安心して生活できるよう個々の入居者に合わせた介護実践を行いましたが、２４時間シートの更新をスムーズに行なえていません。身体拘束は、家族に同意を得て週１回のカンファレンスを行っています。

（方針５）入居者の社会参加機会の確保

（実績５）今年度は、コロナ感染症の流行に伴い家族との面会に留まっています。

令和２年度　特別養護老人ホーム事業実績（収入・稼働率等）　　（収入単位：千円）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
前年度収入実績		9,334	9,288	9,275	9,796	9,581	9,199	9,226	9,871	16,423	9,910	3,090	10,005	114,998
収入予算		9,794	10,064	9,794	10,064	10,064	9,794	10,064	9,794	9,980	9,924	9,650	10,014	119,000
収入実績		10,056	9,525	10,093	10,037	10,094	9,960	10,062	9,587	9,755	9,534	9,059	9,599	117,361
達成率		102.7%	94.6%	103.1%	99.7%	100.3%	101.7%	100.0%	97.9%	97.7%	96.1%	93.9%	95.9%	98.6%
四半期	予算	29,652			29,922			29,838			29,588			119,000
	実績	29,674			30,091			29,404			28,192			117,361
	達成率	100.1%			100.6%			98.5%			95.3%			98.6%
居室数		600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300
稼働居室		600	620	588	620	619	595	620	585	602	605	556	594	7,204
稼働率		100.0%	100.0%	98.0%	100.0%	99.8%	99.2%	100.0%	97.5%	97.1%	97.6%	99.3%	95.8%	98.7%
四半期	居室	1,820			1,840			1,840			1,800			7,300
	稼働居室	1,808			1,834			1,807			1,755			7,204
	稼働率	99.3%			99.7%			98.2%			97.5%			98.7%
入居者数		0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4人
退居者数		0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	5人

通所介護事業（デイサービス）

１．令和２年度活動実績

介護事業の充実

① 通所介護事業の継続

【実績】

令和２年度も前年に引き続き、デイサービスの新規ご利用者の確保を最優先課題として動いて行きましたが、新型コロナ禍により４月７日付けで東京都全域に緊急事態宣言が発令されたことにより、新規のご利用者の問い合わせ自体がほぼ無くなりました。また、既存のご利用者も感染を警戒して利用を控える方が出てきました。厚労省からは「介護サービス事業所が提供する各種サービスについては､利用者の方々やその家族の生活を継続する観点から、十分な感染防止対策を前提として、利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されること」との通知が発出されました。

以上の状況を踏まえ、十分な感染防止対策を講じながら通所介護事業を継続することを最優先に考慮しました。

ⅰ）近隣のデイサービスが中止、または縮小して営業を行うところがありましたが、ケアセンター成瀬では現状での体制で営業を続ける旨を居宅支援事業所に連絡し、併せて取り組んでいる感染対策状況を伝えました。

ⅱ）認知症対応型（りんごくらぶ）での活動では、一般型との分離を形にし、差別化を図ることを計画していましたが、コロナ禍による一般型のご利用者の利用減が多く、同一フロアー内で担当職員を固定化して個別でのサービス提供を行っていきました。

認知症対応型デイサービスの営業については、人員不足により充実したサービスの提供が困難との理由により、令和２年10月31日をもって１年間の休止となりました。

それに伴い、認知症対応型デイサービスでの年２回の運営推進会議の開催も中止になりました。

ⅲ）新型コロナウィルス感染症予防の取り組みとしては２月より数回にわたりご利用者、ご家族へデイサービスから、マスクの着用、迎え前の検温、ご家族の体調の申告等をお願いしました。

デイサービス内では看護グループからの指導､提案を受け職員の体調管理や業務に就く際の衛生対策、マスク、ディスポグローブの着用を行いました。

ご利用者には食事以外の時間のマスク着用、密を回避する座席の配置、カラオケ等の趣味活動での縮小や一部中止の協力をお願いしています。

ご利用者の中にはケアセンター成瀬デイサービスには趣味活動を楽しみに来所されている方が多くいますので、趣味活動を支えるボランティアの方々の縮小にあっても、スタッフにより季節の作品の作成やおとなの学校の活用でサービス提供中の時間を充実して過ごせる工夫を行いました。

② 社会貢献

【実績】

ⅰ）地元の成瀬台小に併設されているすまいる学童クラブ・成瀬台小の交流体験と成瀬台中の職場体験はコロナ禍により全て中止となりました。

社会福祉協議会経由での「夏、体験ボランティア」や夏休みを利用したスポット的な学生のボランティア活動についても今年度は中止となりました。
成瀬台小 2 年生の「町探検」での来訪については 5 名程のグループを 2 回に分けて短時間での受け入れを行いました。

２．令和２年度収入

① 一般型通所介護事業所（総合事業を含む。11 月からは認知症対応型からの 移行ご利用者分を含みます）
84,268 千円 対予算比 88.8%
② 認知症対応型通所事業所（10 月 31 日まで）
6,465 千円 対予算比 40.3%
③ 合計 90,733 千円 対予算比 81.7%

令和２年度デイサービス利用実績

１．令和２年度 利用者換算人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
一般型	644	619	690	748	731	695	702	806	789	779	735	861	8799	733
（換算）	543.5	519.5	621	662.8	631	602	615.3	555	538	535	623	725	7171.1	598
認知症	15	15	12	12	12	12	12	0	0	0	0	0	90	8

２．令和２年度 入浴サービス利用者曜日別人数

	月	火	水	木	金	土	平均
人数(名)	9.2	11	8.6	8.5	9.6	9.5	9.4

3．令和２年度 学習療法利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
人数(名)	6	7	10	11	13	12	10	10	10	10	10	10	119	9.9
増加人数	0	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	8	0.7
減少人数	5	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	9	0.8

4．令和２年度 新規・終了利用者数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		年間合計	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	0	1	2	2	2	2	5	0	3	3	5	1	30	22
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
総合事業	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	1
合計	0	1	2	2	3	2	5	0	4	3	5	1	33	27
	１０月		１１月		１２月		１月		２月		３月		月平均	
	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了	新規	終了
一般	1	2	4	3	3	2	2	2	2	2	1	2	2.5	1.83
認知症	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.33
総合事業	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.25	0.083
合計	2	7	4	3	3	2	2	2	2	2	1	2	14	18

5．令和２年度 実習生(体験学習)受入れ及びボランティア活動人数（延べ人数）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計	月平均
北里大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和薬科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町田福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成瀬台中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各種ボラ	0	0	70	95	90	90	95	95	90	95	93	90	903	75.25
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	70	95	90	90	95	95	90	95	93	90	903	75.25

６．令和２年度 収入実績

単位：千円

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年間計
一般	R1実績	6,803	7,133	7,133	7,452	7,887	7,911	7,899	7,502	7,462	6,514	7,101	6,341	87,138
	R2予算	7,921	7,911	7,911	7,911	7,911	7,911	7,911	7,911	7,911	7,911	7,911	7,911	94,942
	R2実績	5,052	5,966	6,677	7,578	7,551	7,130	7,071	7,299	8,039	7,249	7,109	7,547	84,268
	対前年比	74.3%	83.6%	93.6%	101.7%	95.7%	90.1%	89.5%	97.3%	107.7%	111.3%	100.1%	119.0%	96.7%
	対予算比	63.8%	75.4%	84.4%	95.8%	95.4%	90.1%	89.4%	92.3%	101.6%	91.6%	89.9%	95.4%	88.8%
認知	R1実績	1,391	1,436	1,322	1,438	1,218	1,086	959	1,408	954	1,248	893	978	14,331
	R2予算	1,340	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	1,338	16,058
	R2実績	968	776	952	843	949	938	1,061	-22	0	0	0	0	6,465
	対前年比	69.6%	54.0%	72.0%	58.6%	77.9%	86.4%	110.6%	-1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.1%
	対予算比	72.2%	58.0%	71.2%	63.0%	70.9%	70.1%	79.3%	-1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.3%
合計	R1実績	8,194	8,569	8,455	8,890	9,105	8,997	8,858	8,910	8,416	7,762	7,994	7,319	101,469
	R2予算	9,261	9,249	9,249	9,249	9,249	9,249	9,249	9,249	9,249	9,249	9,249	9,249	111,000
	R2実績	6,020	6,742	7,629	8,421	8,500	8,068	8,132	7,277	8,039	7,249	7,109	7,547	90,733
	対前年比	73.5%	78.7%	90.2%	94.7%	93.4%	89.7%	91.8%	81.7%	95.5%	93.4%	88.9%	103.1%	89.4%
	対予算比	65.0%	72.9%	82.5%	91.0%	91.9%	87.2%	87.9%	78.7%	86.9%	78.4%	76.9%	81.6%	81.7%

訪問介護事業（ヘルパーステーション）

１、事業実績

（１）訪問介護・日常生活支援総合事業

月平均１６６名の利用で、利用時間は平均１５６２時間となり、利用者約６名・派遣時間約７０時間減になりました。今年度は新型コロナウイルス感染症防止の対応に日々追われた１年でした。加えて、登録ヘルパーの退職が重なり稼働ヘルパーが４０名を割ってしまう月もありました。その為、新規受け入れが出来ないなどの影響が出ました。

（２）居宅介護・重度訪問介護

居宅介護の利用者は月平均で約９名、重度訪問介護の利用者は昨年同様１名でした。
利用時間は月平均１３０時間で、昨年より４０時間減少しました。
今年度は報酬単価の高い介護保険サービスの新規利用者を獲得する為、障害福祉サービスの新規受け入れは中止しました。

（３）制度外訪問介護

毎月平均１９名の利用がありました。時間数は月平均６６時間で、昨年同様となりました。
新型コロナウイルス感染拡大となった１月から、通院付き添いにおける感染リスクが高くなった為、なるべく家族対応へ移行したい事も踏まえ料金を￥１５００→￥２２００へ値上げしました。

２、事業総括

１（方針）利用者のニーズに合った満足していただけるサービスの提供。

（実績）施設内研修、６/２２、１７：３０～１９：１０施設内ワークショップ８名。
１０/１４、１７：４５～１９：３０新型コロナウイルス感染予防対策研修２９名、
１１/２０、１７：３０～１９：００安全で楽しい食事のケア１１名、
Ｒ３/１/３１、介護福祉士国家試験合格２名、
専門職としての自覚と知識の取得に務めました。ターミナルケアの受け入れも可能な限り受け入れ、チームケアでサービスの提供を行いました。

２（方針）登録ヘルパーの確保と運営。

（実績）新規登録４名、退職７名（高齢、引っ越しなど）でした。
現在の登録ヘルパーは４０名となり昨年より１名減少となり過去１０年で最小の登録数となりました。求人チラシやハローワークで募集をかけましたが大きな成果には繋がりませんでした。運営面においては複写式の活動記録表の導入を検討する為、数社からサンプルを取り寄せ検討しましたが、コロナ禍の中で予算を組む事が困難になり見送りとなりました。
利用者の最新の状況を把握し、ケアマネジャーや家族への報告をスムーズに行うよう努めましたが、それを記録に残すなどの事務作業が並行して実施出来ず後追いになってしまいました。

３（方針）必要書類の整備。

（実績）Ｒ２/１２に全利用者の書類の整備が出来ているか点検を行いました。
サービス提供責任者で差が生じている事が分かり、アンバランスな業務負担でなかったか？など見直す機会となりました。

全体総括

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、毎日の様に入る地域の感染状況の電話対応に職員が右往左往した１年間でした。陽性者宅へのサービス提供、自宅の消毒作業など高リスクな業務をお願いする事例も出てしまいました。その職員の家族も仕事を休まざる得なくなってしまいました。大変申し訳なく、また心より感謝致します。
来年度は職員のメンタル（ストレス）にも意識を向け、コロナ疲れで体調を崩す事など無いよう、余裕を持って全体を見る気配りを忘れぬよう心掛けていきたいと思います。

令和２年度ヘルパーステーション利用実績

別表1 介護保険

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
総利用者数	R2年度	167	150	166	164	166	168	162	172	180	165	169	169	1998
	R1年度	163	165	166	174	169	167	173	173	180	176	182	180	2068
要介護者数	R2年度	106	94	104	104	105	108	105	113	118	108	115	116	1296
	R1年度	102	103	104	110	108	106	111	111	119	115	122	121	1332
要介護 法人内ＣＭ	R2年度	39	33	42	36	35	34	37	39	44	39	41	38	457
	R1年度	42	41	42	45	42	43	47	45	47	46	45	43	528
要介護 法人外ＣＭ	R2年度	67	61	72	68	70	74	68	74	74	69	74	78	849
	R1年度	60	62	62	65	66	63	64	66	72	69	77	78	804
要支援者数	R2年度	61	56	63	60	61	60	57	59	62	57	54	54	704
	R1年度	61	62	62	64	61	61	62	62	61	60	60	59	735
新規 利用者数	R2年度	2	1	9	4	4	3	5	8	4	1	4	4	49
	R1年度	5	5	1	7	5	1	8	3	9	6	8	4	62
派遣時間	R2年度	1,503	1,461	1,534	1,598	1,557	1,561	1,626	1,652	1,608	1,447	1,438	1,541	18,526
	R1年度	1,595	1,664	1,523	1,667	1,565	1,547	1,679	1,633	1,696	1,681	1,604	1,729	19,583
登録ＨＰ 活動人数	R2年度	41	41	43	40	41	40	40	41	41	40	40	38	486
	R1年度	44	44	44	44	44	45	40	40	41	41	41	41	509

別表2 障がい

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
居宅介護 利用者数	R2年度	9	9	9	10	9	9	9	9	9	9	9	9	109
	R1年度	11	11	10	11	10	10	10	10	10	10	10	9	122
重度訪問 利用者数	R2年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	R1年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
移動支援 利用者数	R2年度	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4
	R1年度	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	0	1	6
派遣時間	R2年度	117.2	114.5	129.5	124.5	108.7	145.5	141.8	141.5	157.1	131.6	138.8	168.3	1619
	R1年度	144.3	180	188	200.5	174	185.5	165	182.5	205.3	169.3	137	145.5	2076.9

別表3 制度外

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
派遣時間	R2年度	72	63	75.5	74	62.5	68	63.5	64	67.5	40	54	48.5	752.5
	R1年度	73.3	69.6	45.6	79.4	63.1	64.6	91.6	71.6	70.5	62	81	80	852.3
利用者数	R2年度	20	16	17	20	18	17	20	23	18	17	19	17	222
	R1年度	23	18	15	26	23	25	23	23	27	23	25	21	272

別表4　事業収入　　単位：千円

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
総収入	R2年度	6,753	6,291	6,730	7,177	6,873	6,831	6,899	8,893	6,879	5,186	6,942	6,447	81901
	R1年度	7,147	6,958	7,155	7,528	7,184	6,862	7,633	7,708	9,254	7,288	6,920	8,487	90124

別表5 実習生受け入れ　　単位：人

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
町田福祉保育専門学校													0
北里大学医学部													0

居宅介護支援事業（ケアマネジメントセンター）

１.活動方針

住み慣れた地域・顔が見える環境でご利用者のご希望や状態をふまえ、不安を軽減し、望まれる生活が送られるよう、新たなつながりや生きがいを生活の中に見つけていただけるようなケアプラン作りや関わりをこころがけていきます。そのために、職員は常に専門知識を学び、最新で必要な情報の収集等をし、より良質で効果的なケアマネジメントを行うことで、ご利用者やご家族の気持ちの支えとなれるような事業所作りをめざします。

「地域包括ケアシステムの推進」「医療・介護の役割分担と連携の一層の推進」「ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保」に即していけるよう地域の方々の声に耳を傾け、高齢者支援センターや地域の医療機関との連携も行い、多様化したニーズに応えていけるよう事業所として取り組んでいきます。

２.基本方針

⑴ケアマネジメントの質の向上に努めていく。

【計画】

１，町田市ケアマネジャー連絡会や町田市人材開発センター主催の研修をはじめ、東京都介護支援専門員専門研修Ⅱの研修等を事業所・個人単位で計画をたてていきます。

２，研修で得たこと等、ミーティングで共有・理解を深め、それぞれのケアマネジメントに活かしていきます。

３，部署内ミーティング等でも、事例検討や処遇困難ケースについて検討を行うことで、ケアマネジメントの質の向上に努めていきます。

【実績】

１,当初は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、研修の開催がありませんでした。9 月以降、ZOOM 等を活用し開催され、隔月であった町田市ケアマネジャー連絡会の研修は、2 回あり参加しました。町プロや高齢者支援センター主催等の研修にも積極的に参加しました。

２，研修で得た知識・情報を、ミーティングを通して共有し理解を深め、それぞれのケアプラン作成やケアマネジメントの質の向上に役立ちました。

３，毎週行うミーティングでは、時間短縮を考慮して行いつつも、処遇困難ケースについて検討し、その都度、アドバイス等相談しながら進めることができました。

⑵職員の連携と職場つくり

【計画】

１，変わりゆく介護保険制度や地域の社会資源の情報等、職員間での意思疎通・情報交換を大切にし、気軽に相談できる職場の雰囲気作りをしていきます。

２，毎朝のミーティングや部署内ミーティング、業務日誌や連絡ノート等を活用します。

３，新規利用者や対応が難しいケースについては、管理者や主任介護支援専門員が同行し、状況確認やアドバイス等行っていきます。

【実績】

１，新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて等、ケアマネジメントを行う上での変更等あり、その都度、新しい情報を共有し、適切なケアマジメントに繋げていけるようにしました。

２，毎朝のミーティング時や業務日誌、コロナ関連についても連絡ノートを活用し、情報共有を図ることができました。コロナ関連のファイルも作成しました。
３，新規利用者等、同行訪問を行い、ミーティング等で情報共有してきました。

⑶地域への貢献と役割

【計画】

１，地域ケア会議や地域支え合い会議などに参加し、地域の専門職や住民の方との連携を広め、地域での役割を担っていきます。
２，特定事業所加算の取得事業所として、地域の居宅介護支援事業所と合同で研修会を行い、地域の介護支援専門員の質の向上に努めていきます。
３，施設周辺の清掃奉仕活動にも参加していきます。

【実績】

１，コロナ禍もあり、地域ケア会議等 ZOOM で参加しました。
２，特定事業所加算Ⅱを維持することはできました。合同研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、開催することはできませんでしたが、南圏域研修部会の研修に参画し参加もしました。
３，施設周辺の清掃活動を行いました。

令和2年度ケアマネジメントセンター利用実績

ケアプラン作成実績

（単位：件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	介護１・２	104	102	103	102	105	106	107	107	108	100	100	105	1,249
	介護３・４・５	45	42	43	43	42	42	42	43	48	45	45	42	522
加算	特定事業所加算Ⅱ	149	144	146	145	147	148	149	150	156	145	145	147	1,771
	初回加算	0	0	2	6	3	8	5	5	9	1	2	5	46
	入院時連携加算Ⅰ	2	2	5	1	0	2	4	0	2	1	2	4	25
	入院時連携加算Ⅱ	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	6
	退院・退所連携Ⅰ（1	0	0	4	0	0	1	4	0	1	0	1	1	12
	退院・退所連携Ⅰ（2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院・退所連携Ⅱ（1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院・退所連携Ⅱ（2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合型サービス連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緊急時居宅カンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減算・返戻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防	予防プラン	28	28	27	19	19	18	16	17	18	17	17	15	239
	初回	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	介護	149	144	146	145	147	148	149	150	156	145	145	147	1,771
	予防	28	28	27	19	19	18	16	17	18	17	17	15	239
調査	認定調査	3	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	7

事業収入実績

（単位：千円）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	介護１・２	1,222	1,199	1,211	1,199	1,234	1,246	1,258	1,258	1,269	1,175	1,175	1,234	14,680
	介護３・４・５	687	641	657	657	641	641	641	657	733	687	687	641	7,970
加算	特定事業所加算Ⅱ	663	641	649	645	654	658	663	667	694	645	645	654	7,878
	初回加算	0	0	7	20	10	27	17	17	30	3	7	17	155
	入院時連携加算Ⅰ	4	4	11	2	0	4	9	0	4	2	4	9	53
	入院時連携加算Ⅱ	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	6
	退院・退所連携Ⅰ（1	0	0	20	0	0	5	20	0	5	0	5	5	60
	退院・退所連携Ⅰ（2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院・退所連携Ⅱ（1	7	7	0	0	0	0	7	0	7	0	7	7	42
	退院・退所連携Ⅱ（2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合型サービス連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緊急時居宅カンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減算・返戻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防	予防プラン	121	121	116	82	82	78	69	73	78	73	73	65	1,031
	初回	0	0	0	0	0	0	0	0	3,002	0	0	0	3,002
合計	介護	2,584	2,492	2,556	2,523	2,539	2,582	2,616	2,600	2,743	2,512	2,530	2,567	30,844
	予防	121	121	116	82	82	78	69	73	3,080	73	73	65	4,033
調査	認定調査	13	0	0	0	0	4	4	4	4	0	0	0	29
収入額	令和２年度収入合計	2,718	2,613	2,672	2,605	2,621	2,665	2,688	2,677	2,828	2,586	2,604	2,631	31,908
	令和元年度収入合計	3,075	2,924	3,044	3,122	3,069	3,135	3,056	3,119	3,240	3,096	3,006	2,856	36,742

グループホーム

１，サービスの質の向上に関する取り組み

【実績】ホーム独自のアンケート等の実施はできませんでしたが第三者評価を今年度も受審しました。家族アンケートや評価機関からの評価については良い点は継続し、課題については真摯に受け止めて改善していく必要があります。

面会は入居者の認知症進行予防の観点から感染症予防対策をとった上でできうる限り行いましたが、緊急事態宣言中は一時休止するなどしました。

毎月のお便りや行事や生活の中での写真をご家族に送ることを継続し、法人の広報誌「けあなる」の他に今年度から圓で独自のお便りを作成しホーム全体の活動などの様子も伝えることができました。

開設から３年経て当初からの入居者も状態の変化に合わせ食事、排泄、入浴、口腔など必要なケアを継続して行いました。

各階でユニットの目標を今年度から立てました。（ケアの統一や、入居差のペースに合わせて、できることを行ってもらうなど）　達成できた部分もありますが未達成な部分もありました。ケースカンファレンスについては全入居者ではありませんが、必要に応じて開催し、スタッフでケアについて話し合うことができました。ケースに合った活動やケアの方法など検討し、実践できた部分もあり、今後も継続して開催していく予定です。

２，健康管理について

【実績】各階月一回の内科往診や必要に応じて精神科の往診を継続した。看護師については訪問看護ステーション、法人本部の看護グループ、かかりつけ医院の看護師と担当が変化しましたが、それぞれと連携し入居者の健康管理に努めました。今年度は昨年度から継続して入居者全員が出張健診を受けることができました。必要時には皮膚科や整形外科、脳外科などの受診援助を速やかに行い入院治療が必要な場合は往診医とも連携して援助を行いました。

３，事故防止・ヒヤリハットの取り組み

【実績】事故報告・ヒヤリハットについては報告書で回覧し、申し送りや朝礼の場面でも共有し、重大なことに関してはスタッフで集まって検討会を開いて振り返りや再発防止策を話し合いました。今後、統計を取り十分な分析等で事故防止につなげていくことが必要となっています。

４，日々の生活の中での取り組み・行事等

【実績】お盆拭きや食器拭き、拭き掃除や洗濯ものなど生活の中での役割を持っていただいて継続的してもらえた方もいますが、時間的に少なかったり、なかなか全員に役割を持っていただくことが出来なかった面があるのが課題となっています。

体操や歌などのレク活動もフロアによって定期的に実施ができることもありましたが、ケアの業務に追われて実施が難しいときもありました。感染症の影響などもあり、外出などの活動の制限もある中で、ホーム内での運動やレク、行事等も工夫をして行いましたが、どうしても生活の中での刺激や活動量の減少などがあり入居者のＡＤＬ・ＱＯＬの低下につながるってしまう面がありました。

花壇に野菜畑「まどか農園」を今年度から作り、苗植えや収穫の際に一緒に入居者にも関わってもらうなどの取り組みを新たに行うことができました。

フロアの飾りつけなどで季節が感じられるように工夫をし、行事やイベントについては感染症予防により施設内の各フロアで行うことを中心に実施しました。

４月上旬	桜花見（近所の公園）	５月	端午の節句(助六寿司・柏餅)
７/７	七夕(短冊・お寿司)	８月	行事食（カレー出前）
９月	敬老会(お寿司・お菓子等)	１０月	外出・ほうとう鍋
１１月	行事食	１２/２４	クリスマス行事食・ケーキ
１２/３１	年越しそば	１/１	おせち　初詣(施設内にて)
２/２	節分　豆まき	３/３	雛祭り　毎月　お誕生日会

５，職員の育成・研修等

【実績】ストレスチェックの実施を行った。管理者による面談の実施の機会も設けましたが、十分に行えなかった面があります。スタッフ会議やユニットミーテイングは時間を調整してできる限り行い、意見交換も行えたが連絡事項が中心になってしまいました。感染症に関する研修会は法人の看護師が講師で開催しましたが認知症や介護技術に関する研修などは定期的に実施することがなかなかできませんでした。

派遣職員も下半期に一時はだいぶ減りましたが、直接雇用の新しく入った職員、従来からの職員の定着ができずに年度末にかけて派遣職員が再度増えることになってしまいました。職員が定着できる職場環境になっていけるように改善計画を立てていく取り組みが急務となっています。

６，権利擁護と身体拘束に関する適正化の取り組み

【実績】リーダー層による身体拘束に関する適正化検討会を３ヶ月に一回開催し、不適切なケアや虐待につながる可能性のあるケアなどについて話し合い、スタッフにも内容を周知しました。虐待の芽チェックリストのアンケートを行い、集計結果をまとめてスタッフ間で確認し、感想や改善していくための意見などを共有しました。

７，地域との連携・交流

【実績】地域の住民や施設との交流や障害者施設からのパンの出張販売なども計画していたが感染症の影響もあってできませんでした。運営推進会議も書面での開催と発信となりました。

令和２年度　グループホーム事業実績（収入・稼働率等）

（単位:千円）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
前年収入実績		7,957	8,478	7,963	8,662	8,472	8,782	7,229	7,966	12,664	8,733	5,464	8,445	100,815
収入予算		8,335	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	99,965
収入実績		8,162	8,140	8,278	8,487	8,021	8,566	8,544	8,812	7,814	8,057	7,125	8,159	98,165
居室数		540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	522	558	6,588
目標稼働居室数		513	530	513	530	530	513	530	513	530	530	508	530	6,270
稼働居室数		532	530	540	558	555	523	544	502	526	526	448	515	6,299
空床居室数		8	28	0	0	3	17	14	38	31	32	74	43	288
稼働率		98.52%	94.98%	100.00%	100.00%	99.46%	96.85%	97.49%	92.96%	94.27%	94.27%	85.82%	92.29%	95.61%
年間実績	居室	1,638			1,656			1,656			1,638			6,588
	稼働居室	1,602			1,636			1,572			1,489			6,299
	稼働率	97.80%			98.79%			94.93%			90.90%			95.61%
	収支差額	-173	-190		157	-309	236	214	482	-516	-273	-1205	-171	-1,748
	予算達成率	97.92%	97.72%	99.38%	101.88%	96.29%	102.83%	102.57%	105.79%	93.81%	96.72%	85.53%	97.95%	98.20%

看護グループ

【総括】

創和会は、年度初めから、川尻施設長が退職され、運営組織が改革され、赤字経営からの脱却を強化していく事になりましたが、同じ時期に新型コロナウイルス感染症の感染が始まり、その情報収集や対応、マニュアル作成に追われ、日々の業務の中に強く感染対策を意識しながらの運営に大変苦労する日々の連続でした。

職員一丸となっての感染対策が功を奏し、年度末時点では、幸い、訪問介護ご利用者１名の感染確認があった以外は、入所施設・デイサービスご利用者・職員の感染は、見られていません。

さらに、7 月から、同じ法人内のグループホームへ感染対策+重度化に備えて、創和会看護 G から週 1 回の看護師派遣を開始しました。

ただ、7 月に看護師 1 名が退職となり、冬季に新型コロナウイルス感染症の第３波の対応に追われ、残念ながら、12 月にて派遣終了としました。感染対策については、引き続き、継続対応しています。

（目標１）デイサービスご利用者の健康管理を実施します。

（実績）

昨年度､利用者増員計画を打ち立て､営業努力をするなか､昨今の複雑化する在宅事情の中、在宅介護困難ケースや医療依存度の高いケースも目立つようになりましたが､できるだけどんなケースも受けられるように努力しました。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響で、特に 1 回目の緊急事態宣言時には、感染を心配され利用を控えるご利用者があり、減少傾向です。

その後、徐々に感染対策を強化して、できるだけ安心してご利用いただけるようにデイサービス職員と検討、対策を実施しました結果、第３波では大きな減少は無い状態で運営できていますが、逆に医療依存度の高いご利用者が入院、入所となって減少しました。

（目標２）特養ご入居者の健康管理を実施します。

（実績）

特養では、9 年経過する中で、ご入居者が重度化し医療的なサポートが増加しています。入居当初から、重度なケースも多く、比較的早い段階で看取りケアに移行するご入居者もいらして、感染対策のなか、特にご家族へのサポートに苦労しました。

また、介護職員の退職が多く、チームケアが十分に出来ない中、医療的なリスクマネージメントを実施し、細やかな健康管理を心がけるようにしましたが、情報共有が不足する場面もあり、反省材料となりました。

新型コロナウイルス感染症の対策は､かなり慎重に検討して対策を実施しており､現在まで、新型コロナウイルス感染症の感染者は発生していません。

第３波には、東京都の病床がひっ迫し、万が一、ご入居者に感染が判明しても、ご入院出来ない事態を想定してのシミュレーションや研修を行いました。

（目標３）施設内の教育に協力します。

（実績）

今年度は、4 月から、新型コロナウイルス感染症の基礎研修を全部署にて行い、さらに入所の部署へは、ガウンテクニックの実地研修を行いました。
新入職員へは、年 2 回の基本研修ではなく、入職都度、各自へ、個別に感染研修を実施しています。

（追加目標４）グループホームご入居者の健康管理を実施しました。

7 月～12 月まで週 1 回の派遣を行いました。
グループホームの看護師の役割を検討しマニュアルを作成し､後続の看護師に引継ぎを行えるようにしました。重度化したご入居者が 2 名、看取りケアの検討を介護職員と検討しましたが、派遣期間内では、何とか体調を維持して、次の看護体制に引き継ぐことが出来ました。
特養と同様に、新型コロナウイルス感染症の対策を検討、実施しており、今年度、グループホームでは、新型コロナウイルス感染症の感染者は発生していません。万が一、ご入居者に感染が判明しても、ご入院出来ない事態を想定して、シミュレーションを行い、対策を検討中です。

総務管理課（法人本部事務局）

１、経理業務

【計画】

（主なスケジュール等）

⑴令和元年度決算業務、⑵監事監査、資産登記変更手続き、⑶令和２年度補正予算作成
⑷令和３年度当初予算作成

【実績】

⑴令和元年度決算手続き、⑵監事監査、資産登記変更手続き（監事監査：5/27、理事会承認：6/4、評議員会承認：6/12、資産変更登記：6/23）、⑶令和２年度第一次補正予算（理事会承認：10/24、評議員会承認：11/14）、第二次補正予算（理事会承認：3/22、評議員会承認：3/27）⑷令和３年度当初予算作成（理事会承認：3/22、評議員会承認：3/27）、⑸令和２年度決算手続き

２、給与、労務管理業務

【計画】

⑴年末調整：12 月、⑵支払調書、法定調書の作成提出：1 月、⑶職員定期健康診断等の実施（職員定期健康診断：8 月（夜勤業務従事者については、8,3 月　年 2 回の実施））、⑷ストレスチェック：10～11 月、⑸職員インフルエンザ予防接種：11 月ごろから、⑹腰痛検診等の実施、⑺社会保険加入手続き（随時）、⑻月次勤務表とりまとめ、⑼月次給与支給手続き

【実績】（月は実施月）

⑴年末調整：12 月、⑵支払調書、法定調書の作成提出：1 月、⑶職員定期健康診断の実施（定期健康診：7 月～1 月（夜勤従事者については、3 月）、⑷ストレスチェック：12 月～1 月、⑸職員インフルエンザ予防接種の促進、⑹腰痛対策のための予防体操研修の実施（コロナウイルルの為中止）、⑺職員入職・退職に伴う社会保険等各種手続き、⑻勤務表とりまとめ、⑼月次給与支給手続き

３、その他

【計画】

⑴「経営の安定化に向けての取り組み」…①介護人材定着に向けた取り組み、②各種経費低減活動の実施、③寄付金収入の確保にかかる各種取り組み
⑵社会貢献活動…①カフェ「はなみずき」の有効活用、②週一回の施設周辺清掃活動の実施③「ケアセンター成瀬まつり」の開催、④地域総合防災訓練への参加

【実績】

⑴「経営の安定化に向けての取り組み」
①介護人材定着に向けた取り組み
⇒❶求人用チラシを地域に向けて配布し職員募集を行う（2 回実施）。
❷介護職員就業促進事業を活用し、未経験者及び無資格者の採用促進を図りました。
②各種経費低減活動の実施、

⇒❶求人方法の見直し（昨年まで新聞折り込み広告での求人を多く活用しておりましたが、費用対効果が良くなかったため、地域に対してのチラシの配布等方法及び、コストのかからない方法を活用しました。

⑵社会貢献活動

①カフェ「はなみずき」の有効活用、③「ケアセンター成瀬まつり」の開催、④地域総合防災訓練への参加、以上３項目については、新型コロナウイルス感染対策による中止等により着手できませんでした。但し、②週一回の施設周辺清掃活動の実施、については、これまでと同様、雨天を除き、ほぼ毎週、継続し実施致しました。

⑶その他実施したこと

①運営委員会の開催

今年度、施設長が代わったことに伴い、これまで主任以上が毎月出席する管理者会議に替わり、会議の一層の活性化、情報の確実な共有の為、副主任以上が出席する運営委員会を開始致しました。

②管理者ミーティングの実施

同様に、日常レベルでの情報共有化の強化のため、各部署管理者が毎週月曜１４時から３０分ほど集まり報告等行う「管理者ミーティング」を今年度より新たに開始致しました。

③処遇改善手当関係事務手続き、

前施施設長が担っていた処遇改善手当関係手続きを、新たに総務職員が引継ぎ担当致しました。引継ぎ後初年度ということと、その業務量等が重なり時間を費やすことになりましたが、無事に同手当を支給し、報告手続き等終えることができました。

４，総括

今年度は、年度開始時の施設長の交代に加え、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響が重なり、事業計画実践の取り組みより、新型コロナウイルスの制約のもとで、各種対応を優先的に行うことに費やされた一年でした。

その為、新型コロナウイルス感染対策に関する各種助成金事業の活用の事務手続き、運転資金充足のための借入れ手続き、更には施設長の退任と交代による、各種事務手続きの引継ぎ、また新たな体制維持・見直しのために、運営委員会、管理者ミーティング等、新たな業務等に尽力した一年となりました。

また課題の一つであった、介護職員の直接雇用促進については、なかなか思うように進まず、派遣職員支出が 30，000 千円を大きく超過しました。来年度も引き続き取り組むべき喫緊の最優先課題であると認識しております。

令和2年度　避難訓練・建物点検等実施一覧表

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数合計
避難訓練						9/14						3/26	2
総合訓練				7/13							2/26		2
消防設備点検				7/13							2/26		2
ボイラー点検					8/26								1
建築設備定期点検							10/23						1
水質検査	4/20												1
受水槽・汚水槽清掃・点検	4/19												1
エレベーター点検		5/19	6/19	7/21	8/18	9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/16	3/16	11
電気設備点検		5/26				9/15		11/24		1/13		3/9	5
自動ドア保守点検				7/30						1/26			2

※上表の日付は、各項目の実施日を表しています。

令和2年度　各種会議・委員会の実施状況

1、理事会（計3回）

開催日	議　題　他
6月4日 決議省略	第1号議案　平成31年度（令和元年度）事業報告の件
	第2号議案　平成31年度（令和元年度）決算報告の件
	第3号議案　平成31年度（令和元年度）監査報告の件
	第4号議案　定時評議員会に関する開催方法の件
10月24日	第1号議案　運転資金借入の件
	第2号議案　認知症対応型通所介護事業休止の件
	第3号議案　令和2年度第1次補正予算の件
	第4号議案　第85回評議員会開催の件
3月22日 決議省略	第1号議案　令和2年度第2次補正予算の件
	第2号議案　令和3年度事業計画の件
	第3号議案　令和3年度当初予算の件
	第4号議案　川尻理事辞任の件

2、評議員会（計3回）

開催日	議　題　他
6月12日 決議省略	第1号議案　平成31年度（令和元年度）事業報告の件
	第2号議案　平成31年度（令和元年度）決算報告の件
	第3号議案　平成31年度（令和元年度）監査報告の件
11月14日	第1号議案　運転資金借入の件
	第2号議案　認知症対応型通所介護事業休止の件
	第3号議案　令和2年度第1次補正予算の件
3月27日 決議省略	第1号議案　令和2年度第2次補正予算の件
	第2号議案　令和3年度事業計画の件
	第3号議案　令和3年度当初予算の件

３、運営委員会（計１２回）

開催日	議　題　他
4月30日	・理事長あいさつ
	・令和2年3月度収支報告
	・今年度の方向性
	・人材について
	・コロナウイルス対策について
5月28日	・理事長あいさつ
	・令和元年度、令和2年4月収支報告
	・令和2年度第1回基本研修の開催について
	・デイサービスの運営についての報告
6月25日	・理事長あいさつ
	・5月度収支報告
	・7月からの体制について
	・令和2年度「ケアセンター成瀬まつり」について
	・令和2年度第1回基本研修（7/28）のテーマの確認
	・6/22開催ワークショップの報告
	・今後の研修関係の在り方について
7月30日	・理事長挨拶
	・6月度収支報告
	・収入の状況と今後の見通しについて
	・令和2年度「ケアセンター成瀬まつり」について
8月27日	・理事長挨拶
	・7月度収支報告
	・避難訓練実施の日程調整
	・令和2年度上半期人事考課面談の件
9月24日	・理事長挨拶
	・8月度収支報告
	・本会の資金繰り状況について
	・派遣職員契約の減少への対策
10月29日	・理事長挨拶
	・9月度収支報告
	・年末年始営業の件
	・前回会議から現在までの経過報告と今後について
11月26日	・理事長挨拶
	・10月度収支報告
	・広報委員会について
	・特養職員の現状の人員不足への対応について
12月24日	・理事長挨拶
	・11月度収支報告
	・令和2年度　第2回基本研修について
	・令和3年度事業計画（予算）策定用資料の提出について
	・デイサービス人事について
1月28日	・理事長挨拶
	・12月度収支報告
	・令和2年度第2回基本研修（2/10開催予定）プログラムについて
	・次年度36協定締結について
	・人事について（特別養護老人ホーム、グループホーム）

2月25日	・理事長挨拶
	・1月度収支報告
	・避難訓練の日程調整
	・下半期人事考課について
	・地域包括ケアに向けての連携について
3月25日	・理事長挨拶
	・2月度収支報告
	・令和3年度当初予算について
	・令和3年度事業計画について
	・令和2年度年度未処遇改善手当の支払いについて
	・令和3年度処遇改善手当の支払い計画について
	・令和3年度人事について

4、感染対策委員会（計12回）

開催日	議　題　他
4月21日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
5月7日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
6月25日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
7月30日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
8月27日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
9月24日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
10月29日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
11月26日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等

12月24日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
1月28日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
2月25日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等
3月25日	・感染症流行概況 ・施設内感染状況 ・施設内対応 ・新型コロナウイルスに対する当面の対策や今後に備えた対応等

5、広報委員会（計12回）

開催日	議　題　他
4月3日	・広報誌「けあなる№33」編集会議
5月8日	・広報誌「けあなる№33」編集会議
7月3日	・広報誌「けあなる№34」編集会議
8月7日	・広報誌「けあなる№34」編集会議
9月4日	・広報誌「けあなる№34」の振り返り
10月2日	・広報誌「けあなる№35」発行時期について
11月6日	・ホームページの運用について ・広報誌「けあなる」の内容について他
12月4日	・ホームページの運用について
	・広報誌「けあなる」の内容について
12月14日	・ホームページ業務のサポート担当と進捗について（報告） ・広報誌「けあなる№35」の発行について ・今後の委員会の在り方及び、進め方について
1月8日	・広報誌「けあなる№35」 経過確認 ・ホームページについて
2月5日	・広報誌「けあなる№35」 経過確認
3月5日	・広報誌「けあなる№35」の振り返り ・ホームページ更新等について

令和2年度各種研修報告

1、内部研修開催実績

①「施設内研修」

今年度は新型コロナウィルス感染対策の為、人の集まる研修は原則状況を見ながら実施し、結果として数回のみの実施となり、またリモートにて参加する研修に留まりました。

日付	講師	研修内容
5月13、19日	看護職員	感染対策研修（新型コロナウィルスについて）
6月22日	内部職員	事例検討会
10月14日	看護職員	新型コロナウィルス感染予防対策（ヘルパーステーション向け）
11月20日	内部職員	食事介助研修
3月9～15日	外部講師	クレーム対応の極意（ネット配信によるものを視聴）

②基本研修

主に過去半年の間に入社した職員に向けた基本テーマを取り扱った研修。テーマは、本会の理念、創設の経緯といった本会の成り立ちから始まり、ビジネスマナーや、介護保険制度の概要、個人情報保護、身体拘束の禁止等の知識等を取り上げました。

日付	講師	研修内容
7月28日	内部役職員	新たに入社した職員や既存職員を対象とした基本事項の総合研修
2月10日	同上	同　上

2、外部研修実績（リモートでの参加含む）

日付	職種	研修内容
7月24日	GH職員	介護職員初任者研修課程
9月24日	CM職員	町田市居宅介護支援事業所向け集団指導
11月14日	CM職員	多職種連携研修会
11月14日	CM職員	町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクト　第14回多職種連携研修会
11月26日	CM職員	ケアマネジメントの公正中立性の確保する取り組み調査研究事業報告等について
11月28日	HS職員	介護福祉士国家試験受験対策直前講座
12月1日	総務管理課課長	令和2年度安全運転管理者講習
12月5日	CM職員	認知症ライフサポート研修
12月11日	CM職員	CM職員リ・アセスメント支援シートについて学ぼう
12月11日	CM職員	リ・アセスメントシートについて学ぼう！目指せ私だけのプラン
1月26日	CM職員	インフォーマルサービスの使い方　知って得するいいね！町トレ
2月9日	総務管理課課長	福祉施設における防災への準備、心構え等について
2月10日	CM職員	町田市ケアマネージャースキルアップ研修
2月18日	DS職員	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト
3月16日	CM職員	認知症を持つ方に対する訪問リハビリテーション

施設内事故発生状況

発生日	対象/種類	受傷者/破損物品	事故内容
4月14日	利用者	GH利用者	転倒
5月11日	利用者	GH利用者	その他
5月11日	利用者	GH利用者	転倒
5月28日	利用者	DS利用者	転倒
6月2日	利用者	GH利用者	誤薬
6月30日	利用者	DS利用者	その他
7月6日	利用者	HS利用者	その他
7月27日	利用者	GH利用者	接触
8月2日	利用者	HS利用者	その他
8月13日	職　員	DS利用者	訪問忘れ
8月25日	利用者	GH利用者	転倒
9月1日	利用者	HS利用者	訪問忘れ
9月7日	利用者	HS利用者	誤薬
9月11日	職　員	HS利用者	訪問忘れ
10月9日	利用者	HS利用者	その他
10月15日	利用者	HS利用者	落薬
10月17日	利用者	HS利用者	誤薬
10月20日	利用者	GH利用者	その他
10月21日	利用者	GH利用者	転倒
11月15日	利用者	特養利用者	転倒
11月18日	利用者	HS利用者	落薬
11月25日	利用者	HS利用者	その他
11月27日	利用者	GH利用者	転倒
12月4日	職　員	HS利用者	訪問忘れ
12月6日	利用者	GH利用者	その他

発生日	対象/種類	受傷者/破損物品	事故内容
12月8日	利用者	GH利用者	転倒
12月22日	利用者	HS利用者	転倒
1月6日	利用者	特養利用者	その他
1月9日	利用者	HS利用者	誤請求
1月14日	職　員	HS利用者	訪問忘れ
1月15日	職　員	HS利用者	訪問忘れ
1月25日	利用者	HS利用者	物損
1月29日	利用者	GH利用者	落薬
2月8日	利用者	GH利用者	その他
2月8日	利用者	GH利用者	その他
3月5日	職　員	HS利用者	訪問忘れ
3月11日	利用者	特養利用者	誤薬
3月16日	利用者	HS利用者	その他
3月23日	職　員	HS利用者	訪問忘れ
3月29日	利用者	GH利用者	その他